

MailBox

メールボックス

経済同友会出向者からの近況報告 #9



From : 櫻田 城

在ボストン日本国総領事館 経済担当領事

To : 経済同友会

Subject : **イノベーションを生むエコシステムを有する街**

2018年1月に外務省へ出向し、同年2月より在ボストン日本国総領事館に赴任しました。所属元の田辺三菱製薬では2017年まで米国ニュージャージー州に駐在しており、米国および欧州を中心とした共同研究先の発掘と契約交渉を担当していました。その中、突然の総領事館への異動ということで驚きもありましたが、新たな経験を通して自分自身の幅を広げるチャンスと思ひ、チャレンジすることを決めました。

ボストンは米国の独立以前からある歴史の古い街で、独立戦争のきっかけにもなったボストン虐殺事件やボストン茶会事件が起きた街です。総領事館から徒歩5分程度の街の中心部に「ボストン茶会事件の船と博物館」があり、ツアーに参加すると茶会事件について学ぶとともにレプリカの茶箱を海に投げ込む体験ができ、観光名所となっております。

総領事館での仕事としては経済・科学技術を担当しており、現状の調査や日系企業の支援などの業務を行っております。管轄しているニューイングランド地方の企業・大学との交流を通して得られた情報を当地にいらっしゃる、または今後進出を検討している日系企業にご提供しております。また、日系企業同士の交流も促進するべく交流の場を設定することも行っております。

ニューイングランド地方の大きな特徴としては、マサチューセッツ州ボストン市に隣接するケンブリッジ市にマサチューセッツ工科大学 (MIT) やハーバード大学をはじめとする世界でも一流の大学があり、ライフサイエンスやITなどの産業が非常に盛んな地域となっていることが挙げられます。特にケンダルスクエアというMIT近辺のエリアは徒歩圏内にMITの施設、大企業やベンチャー企業のオフィス、投資家などが密集しています。その中では人の交流が非常に盛んで日頃よ

りさまざまな情報交換や商談が行われており、ビジネスチャンスを求めて居を移す企業も多くあります。インキュベーターやアクセラレーターと呼ばれる起業家を支援する組織・個人の存在もあり、日々多くのベンチャー企業が誕生しております。このような環境は生態系になぞらえて「エコシステム」と表現されることもあります。この「エコシステム」の中に入り込むことで多くの情報・人脈に触れることができ、新たなビジネスチャンスを獲得、アイデアがビジネスとして具現化されていくことが日常的に行われていることは非常に刺激的な環境で、ここに人が集まり続けることがうなずけます。

一方で、この「エコシステム」の中に日本人の姿が少ないことにも気付きました。日系企業は増加傾向にあるものの、日本人留学生は年々減少を続けており、大学で日本人の姿を見つけることはあまりありません。この点に関しては当地の大学も日本人の学生を歓迎したいもののなかなか増えず、寂しさを覚えているというコメントを聞きました。今後、日本人留学生の増加に向けた取り組みができないか模索したいと考えています。



マサチューセッツ工科大学 (MIT) 筆者撮影



ボストン茶会事件の船と博物館 筆者撮影